

長期および短期海外出張者の税務・ビザ・労務管理の留意点

～日本および出張先国の双方の観点から詳細解説します！～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年 11月 22日(金) 13:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京・麹町)

《開催にあたって》

近年、海外展開のさらなる進展に伴い、海外赴任者以上に、海外出張者が増加し、またその期間や滞在目的は多様化しています。そのため、日本及び出張先での税務面でも様々な配慮が必要になることはもちろん、出張先国でのビザの有無やビザの種類の検討、海外出張中の労務管理、健康管理にも配慮する必要があります。そこで本セミナーでは、海外出張者の取扱いを行う企業の担当者向けに必要な知識やポイントをご説明致します。

講師 EY税理士法人 ピープルアドバイザリーサービス パートナー 税理士 藤井恵 氏

講師紹介 神戸大学経済学部卒業後、大手証券系シンクタンク、三菱UFJリサーチ&コンサルティングを経て、2019年10月よりEY税理士法人。著書に「すっきりわかる！海外赴任・出張 外国人労働者雇用」(2019年 税務研究会出版局)、「新版 海外勤務者の税務と社会保険・給与Q&A」(2018年 清文社)など多数。

《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用方法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	35,200円(本体価格 32,000円)	一般	38,500円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

191544-0506		長期および短期海外出張者の税務・ビザ・労務管理の留意点	
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。〔セミナー・会員研究会〕→〔よくあるご質問〕

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/民秋 E-mail:tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2F

・プログラム・

- はじめに
海外出張が海外赴任や国内出張と異なるポイント
- 税務
 - (1)日本の税務
 - ①法人税
・出張経費を本社負担した場合の税務リスク ・海外出張申請書作成時のポイント
 - ②所得税
・数か月単位で日本と海外を行き来する場合の居住性の判定
・海外出張者の出張先の個人所得税を会社負担した場合の日本での取り扱いと留意点
・外国税額控除の手続き方法
 - ③その他
・おみやげ免税(輸出免税)
 - (2)海外の税務
 - ①法人税
・租税条約締結国でみた、出張者がPEになる場合 ・出張者経費を海外子会社から回収する場合の税務
 - ②個人所得税
・租税条約締結国別で見た、短期滞在者免税の要件 ・出張先で個人所得税申告義務が生じた場合
・出張者の出張先での滞在日数管理の方法
- ビザ
・業務内容で異なるビザ取得の必要性の有無(主にアジア地域)
- 予防接種
・海外出張時に必要となる予防接種
- 医療
 - (1)海外で体調を崩した時
・海外で病院にかかるとき ・海外旅行保険の適用範囲 ・健康保険の海外療養費請求
 - (2)海外で緊急事態が発生した場合
・緊急事態にお世話になる先、および緊急事態発生時の流れ ・治療は出張先か日本か
・海外旅行保険が適用される場合、されない場合 ・家族が任地に駆け付ける場合
・大使館、領事館ができること、できないこと ・海外で死亡した場合(遺体搬送、財産の取扱い)
・海外での医療費と事故発生率 ・万が一に備えて準備しておくこと
- 海外での危機管理
・海外で不当に拘束されたとき ・海外の危機管理情報の入手方法
- 海外出張規程
・日当、宿泊費、航空機座席クラスの水準、支度金の考え方 ・チップ、クリーニング代の考え方
・長期の海外出張時の留意点
- 労務管理
・出張時の時間外労働の考え方・移動時間の考え方 ・休日の取扱い(現地と日本で異なる場合)
・国内労災保険の適用範囲、国内労災保険が適用されない場合 ・海外出張とストレス

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい！ 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。